

成人




風間千景 × 雪村千鶴

あま







こんにちは。  
この本は、夜桜の下の鬼千鶴が貝たいなあ!なん?こと思いながら考えたお話です。  
当初、『モブキャラ有りの嫉妬もの。ちょっと他鬼とのアクションあり』な話でしたが  
どうにも長くなりそうだったので削っていったら『ほのぼの(+嫉妬)もの?』になりました。

鬼の姿になるまでの千鶴——ということに捏造ありますが、少しでもお楽しみ頂ければ幸いです。

2010年5月 嘉咲ウタ







「——もう医者の真似事はやめろ」



そう言われたのは  
昼間の出来事







現在

……ッ

寒い……



鬼の隠れ里に  
暮らすように  
なつてから  
それなりの  
月日が経った

ここでは皆  
在るべき姿で  
生活をし



そろそろ  
陽が落ちそう……

春先とはいえ  
薄着過ぎたかな



私は――

風間が連れてきたあの娘  
本当に鬼なのか？

東の鬼の――

未だに人の姿の  
ままではないか

他の鬼達からは  
好機の目で見られ  
嘔かれることが多い

それでも最近

風邪を診たり  
薬を処方したりして

里の人たちに  
受け入れてもらえた  
気がしていた

どうしてですか？  
せつかく

理由などどうでもいい  
鬼を診るのはやめろ

それだけだ





此処が自分の居場所  
なのだろうか

此処に居ても  
いいのだろうか

此処を出て――



せめてどうしてなのか  
教えて欲しい――

はあ……



鬼の姿にもなれない。

唯一の特技？も  
役に立てられない

グイッ  
ニ









いつまでそうして  
いるつもりだ？



おい



む。

女がこんな所で  
蹲るな

千景さん…？

え…？



里の中とはいえ  
他の鬼に

千景さんっ

私怒  
つて  
いる  
んで  
すよ

ハ？

あっ





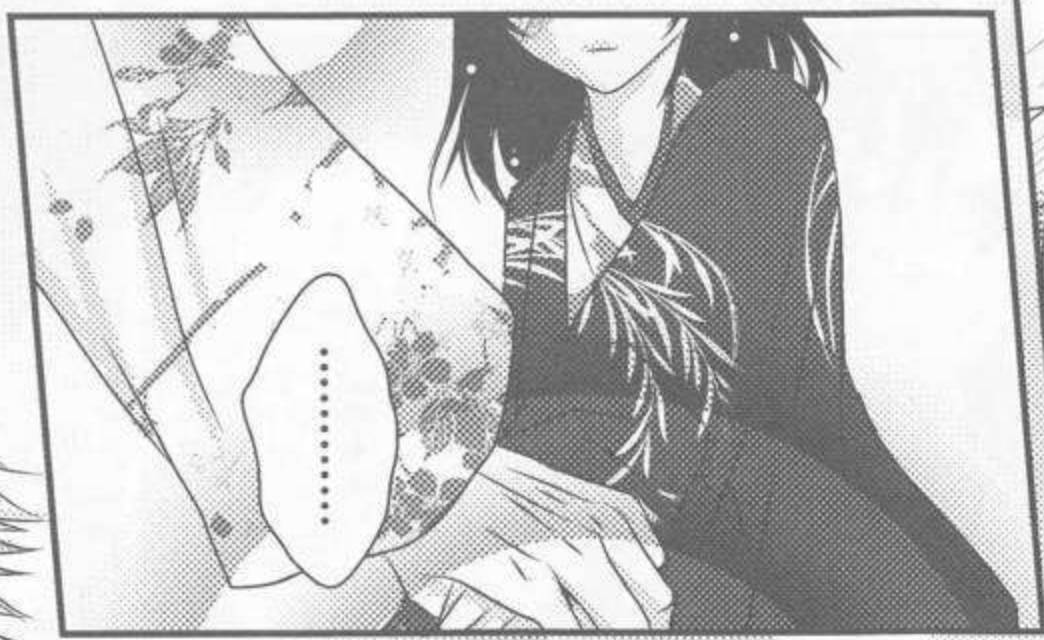
だから何だ  
というのだ

千景さん  
——ッ

!

あっ

帰るぞ



.....







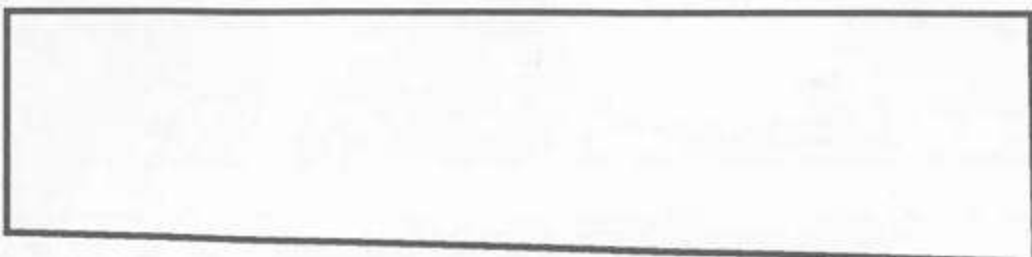
??

いいから  
付いて来い



あの……

どこに向かって  
るんです？  
帰るなら  
こっちじゃ——



……っ!!

……?





綺麗……！

……っ



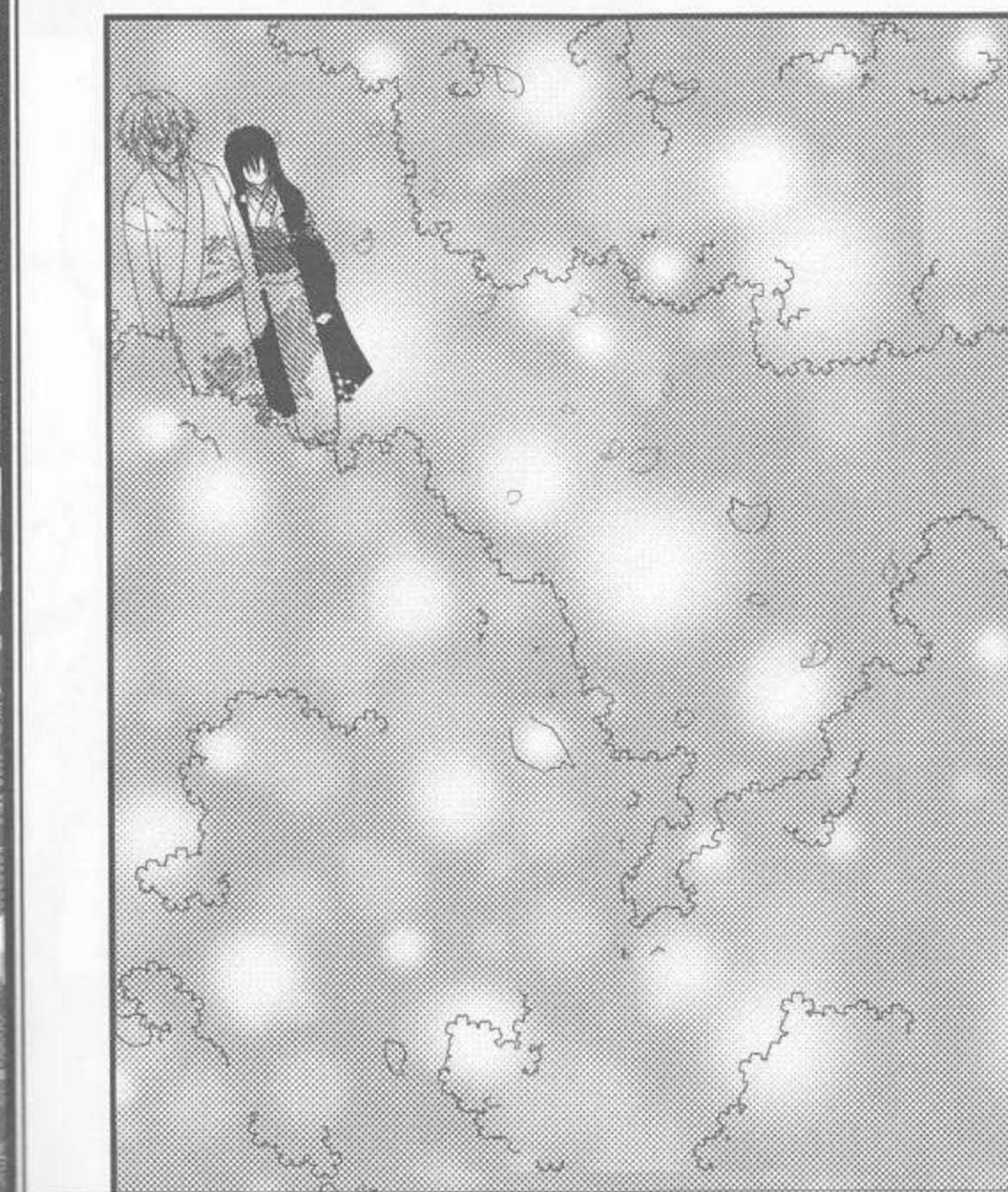
美しい桜には  
強い霊気が宿る  
ことがある――



見事だろう  
たまたま  
見かけたのだ

凄い……  
里の奥に  
こんなところが  
あったなんて――









理由を  
教えてください

……  
必要ないからだ



——私が診療を  
するの……  
どうしても  
いけませんか？

……  
駄目だ



でも——っ

怪我はともかく——  
鬼だつて風邪を  
引いたり……



どうしても  
診たいのなら  
俺だけ診ればいい

他の者に  
する必要はない



え？

……  
そっ……  
??





！

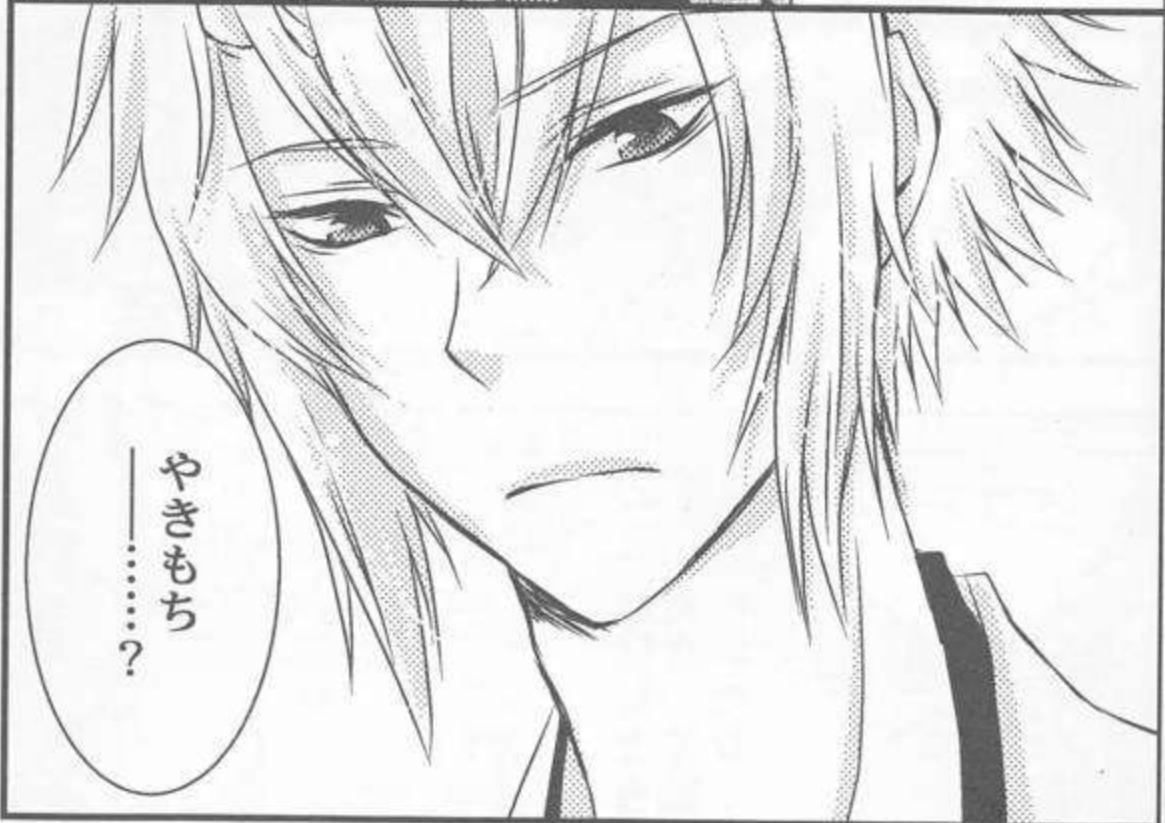
——何を言っている  
馬鹿馬鹿しいこと  
この上ないな

——罾が  
あいましたよ



あ…の…

まさかとは  
思いますけど  
……



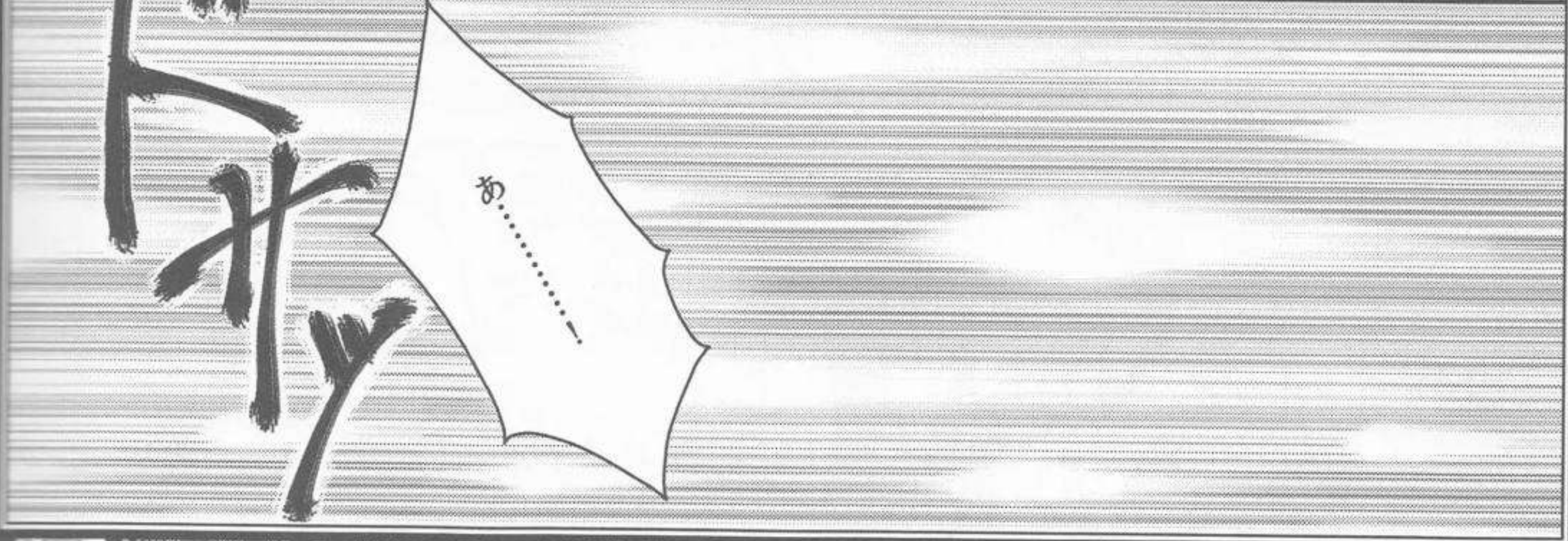
やきもち  
……？



千景さ——

グツ

こっちを向いて  
くださいっ



お……





.....  
何をしている

不覚.....

すっ  
すみません.....!



大丈夫ですか？  
すぐ——



!





嫉妬だ何だのは  
知らんが

お前に触れる者が  
俺以外にいるという  
のは許せん

お前は俺の妻だという  
自覚があるのか？

そ……それは――



何であろうと……だ

千景さ……



診療――

ですよ？



……ん……

こんなにも  
この人の傍に  
いることに馴染んで  
しまったんだらう

……

やっぱり  
この人の隣にいたい

他の誰に  
受け入れて  
貰えなくても

すこし  
鬼の姿に  
なれなくとも

!





千景さん——？



こ、これ……!?

な…?



!?



自分の姿を  
確認したいなら  
俺の眼でも覗いて  
みればいだろう

え……





千景さんの

桜の靈氣に  
当てられたのか



あ……っ



それとも……  
やっこの環境に  
身体が順応したのか……



ぎゅっ

この場所……

私の為に  
探してくれた  
んですか……？



——ふん……  
たまたま  
見つけたのだと  
言わなかったか？

……

しかし……

想像していた  
以上に……

美しいな

そんなこと……  
ないですよ……

月を映じた  
琥珀色の瞳——

綺麗なものは



この男のほう

は

ん

あ……っ

あ

ふた

ふ……う

随分と感じ易い  
身体になった  
ものだな

あっ



ハア  
それ……は……  
でも……

ハア  
ちかげさん……  
が……あつ

ひあつ

あつん♡  
ハア

ハア  
寝ているの  
だぞ……？

もつと……  
もつと俺を楽しませろ

あつ何言っ——  
あつっ♡あつあ……っ

あつ

グキッ

グキッ











ま……たっ  
またあっア♥

あっ

あう

アッ

んっ  
ハッ

アッ

あ——っっ♥♥

だ……めえ♥

何だ

あ……はあっア

また達したのか

ふあ……あ

だめで……っ  
……かけさ……ッ

んん——っん♥



これで  
何回目だ……？

んひア……っ

だって……あつ

だめ  
だめです  
そこ……ツまた……イツ

ふん

ほんっ  
○○○○○○○○  
○○○○○○○○

アツ

やーっ

ズル

ひん





アゲアゲ

ふふふ

ズツ

は……っ

あ

ググ

な……んっ

んっ

フッ

んっ

キク

や……っ  
やだ……あっ

ズッ

ちかげさ……っ

ガク



ここではない  
か？



ムーン

ク





我慢しろ……  
次は俺と共に——だ

ひゅん……っ

ぞろぞろ



やっ  
いや……っ

千景……あっ

あっ

ちかげさん……っ

あっ

そこじゃ……  
ンンっ

ンっ





おねが……っ

も……っ

へんかへんか

ピクピク

ピク

あな あな

ピクピク



そうだ

あー

あ

そうやって……ッ  
その瞳に俺だけを  
映している……ッ

ズ  
ズ  
ズ

あッ

へん













ちかげさん……

ずっと……  
一緒にです



当たり前だ

生涯  
放すことはない



でもやっぱり  
他の鬼だつて  
診ます。

診察ですか？……！



おわい

さくらおに

2010.6.6

蜜色シロップ/嘉味ウタ

Web:<http://mitsuiro.x0.com/>

Mail:[xxxmitsuiroxxx@gmail.com](mailto:xxxmitsuiroxxx@gmail.com)

印刷:日光企画 様

※18歳未満(高校生含む)の購読・即売、  
ネットオークションへの出品を禁じます。

あとがきもどき:  
ちづるがつんてれの筆が風間がつんてれだ!!  
ここまで読んで(なぞ)ありがとうございました!!  
嘉味ウタ





二〇一〇年六月  
蜜色シロップ